



日本仮想化技術株式会社

# QNAP

## 設定手順書

### (iSCSI 編)

2014年12月作成

## 目次

本書の概要 .....	3
Qfinder インストール .....	3
Qfinder 起動.....	7
WebUI への接続.....	9
ストレージプール作成.....	11
iSCSI ターゲット作成 .....	17

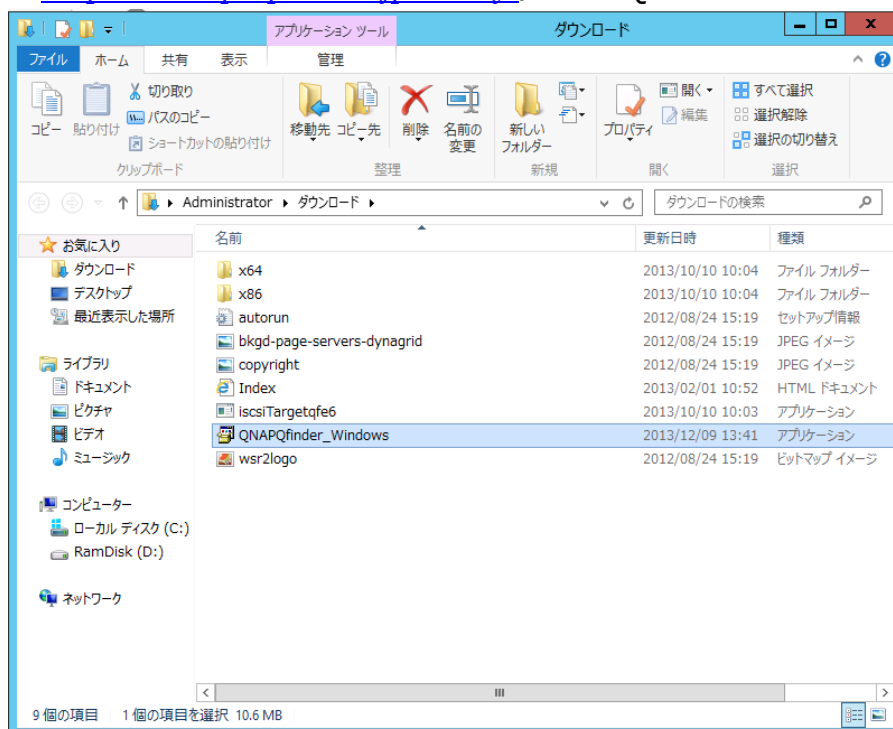
## 本書の概要

本書は、QNAP 管理マシンに対して監視・管理ソフトである Qfinder のインストール・起動、WebUI を使用した QNAP の iSCSI ストレージ設定を行う手順を記述してあります。

## Qfinder インストール

Qfinder は QNAP 管理用ツールで、管理マシンにインストールすることにより管理マシンから QNAP の自動検出と管理を行う事が可能となります。

1. QNAP Qfinder で検索します。
2. QNAP ダウンロードセンター  
(<http://www.qnap.com/i/jp/utility/>) より Qfinder をダウンロードします。



3. ダウンロードしたパッケージをダブルクリックします。
4. インストーラーが起動します。

5. ドロップダウンリストより言語を選択します。



6. [OK]をクリックします。

7. インストールウィザードが起動します。



8. [次へ]をクリックします

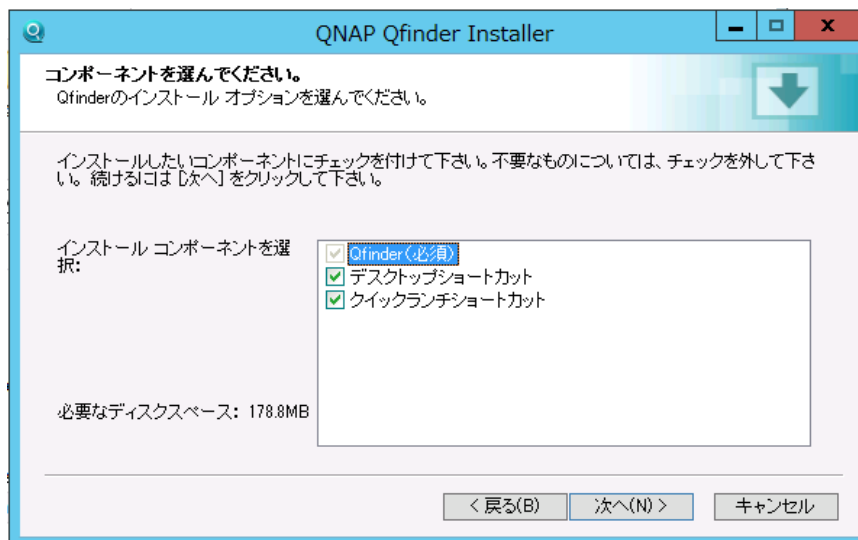
9. ライセンス認証へ移ります。



10. [このライセンス契約書に同意します]にチェックを入れます。

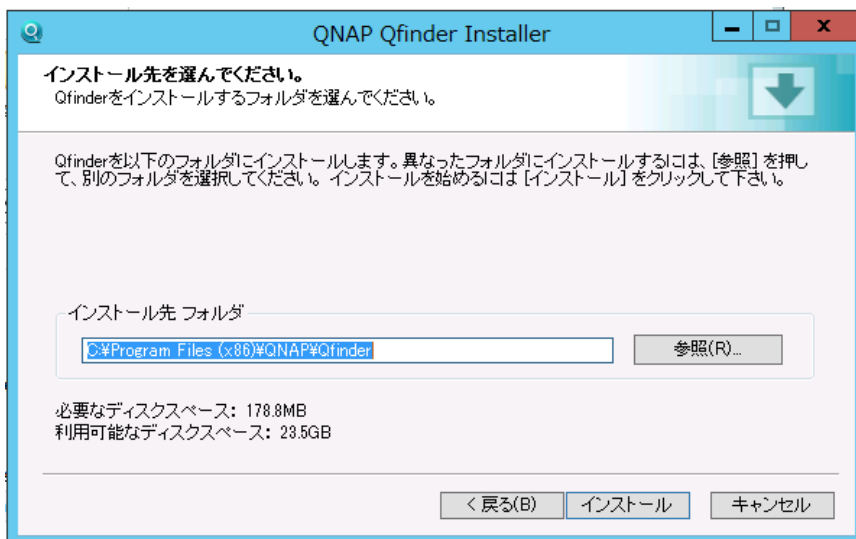
11. [次へ]をクリックします。

12. コンポーネントの選択へ移ります。



13. [次へ]をクリックします。

14. インストール先の選択へ移ります。



15. [インストール]をクリックします。

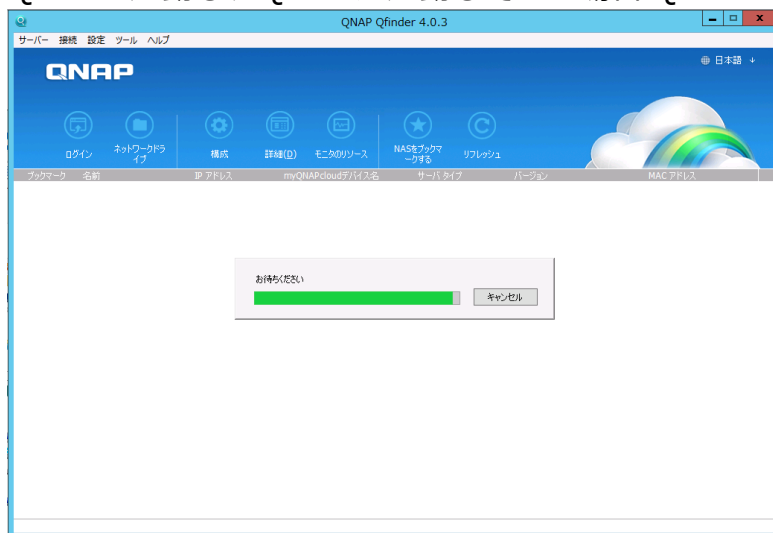
16. インストールが開始されます。

17. インストール終了後、[完了]をクリックします、これでインストールは完了です。



## Qfinder 起動

1. デスクトップに作成されたアイコンをダブルクリックします。
2. Qfinder 起動し、QNAP が起動していた場合 QNAP を検索します。



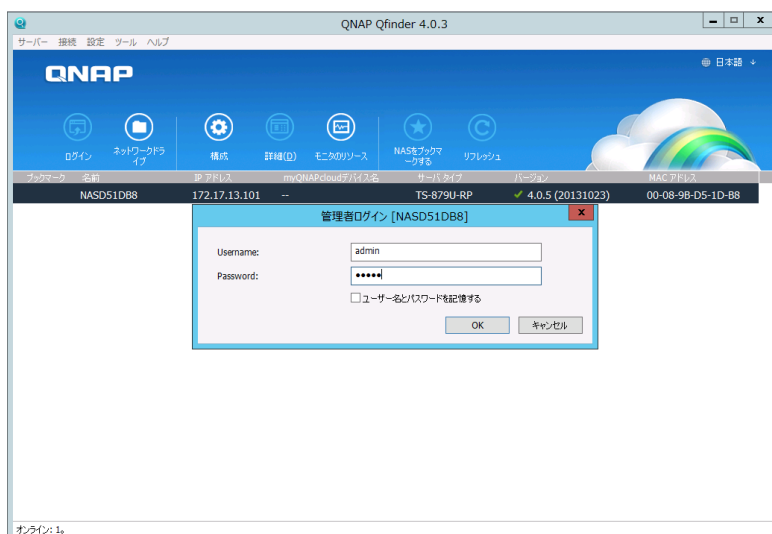
3. QNAP が検出された場合、「E メール通知の設定」のポップアップが表示されます。検出エラーが表示された場合、以下を確認してください。
  - QNAP の電源が ON になっているか
  - QNAP の NIC に LAN ケーブルが接続されているか



4. [はい]をクリックします。

※「Eメール通知の設定 (SMTP サーバの設定)」は必要が無ければ実施せずに、「いいえ」を選択しても次に進めます。

5. 管理者ログインを要求されますのでユーザー名：“admin”、パスワード：“admin”と入力します。



6. [OK]をクリックします。

7. SMTP サーバの設定ダイアログが表示されます。

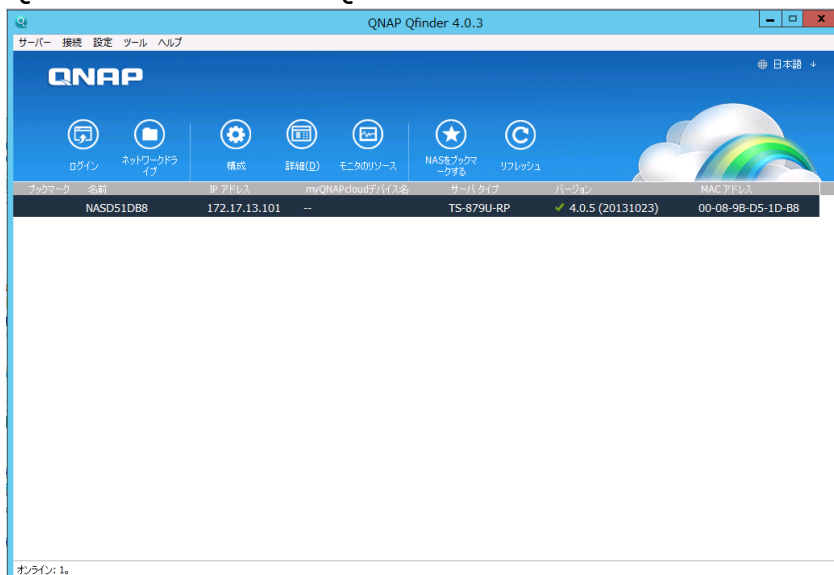


8. 各項目に Eメールの設定を入力します。
9. [OK]をクリックします、これで QNAP のネットワークの設定や管理を行える様になります。

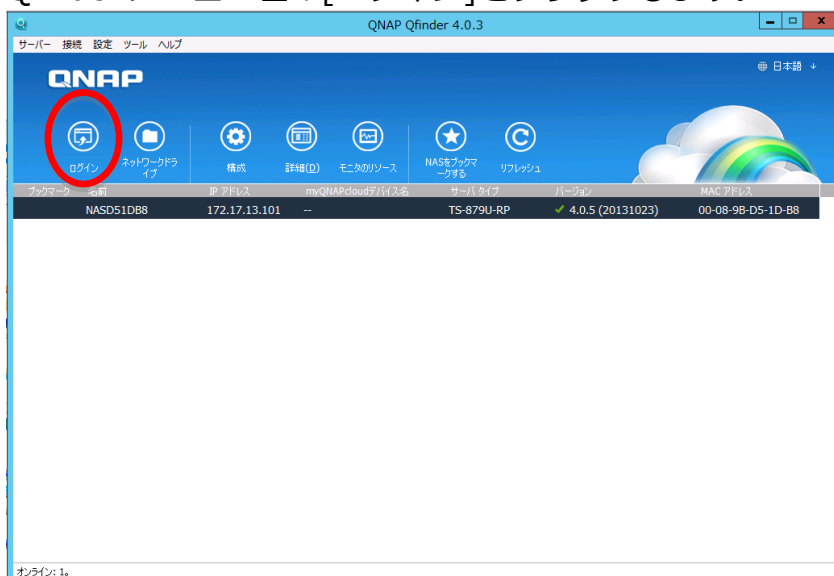


## WebUI への接続

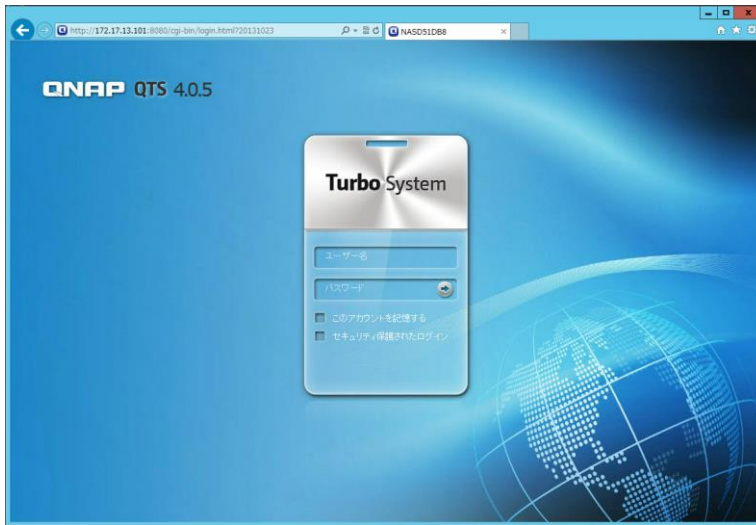
1. Qfinder で検出された QNAP を選択します。



2. Qfinder メニュー左の[ログイン]をクリックします。



3. Web ブラウザが起動します。
4. WebUI のログイン画面が表示されます。



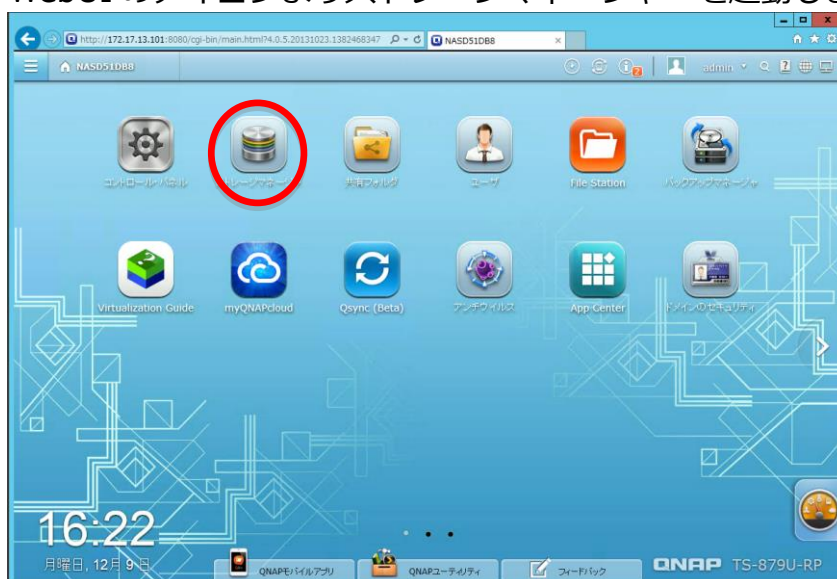
5. ユーザー名 : **admin**、パスワード : **admin** と入力し、WebUI にログインします。

## ストレージプール作成

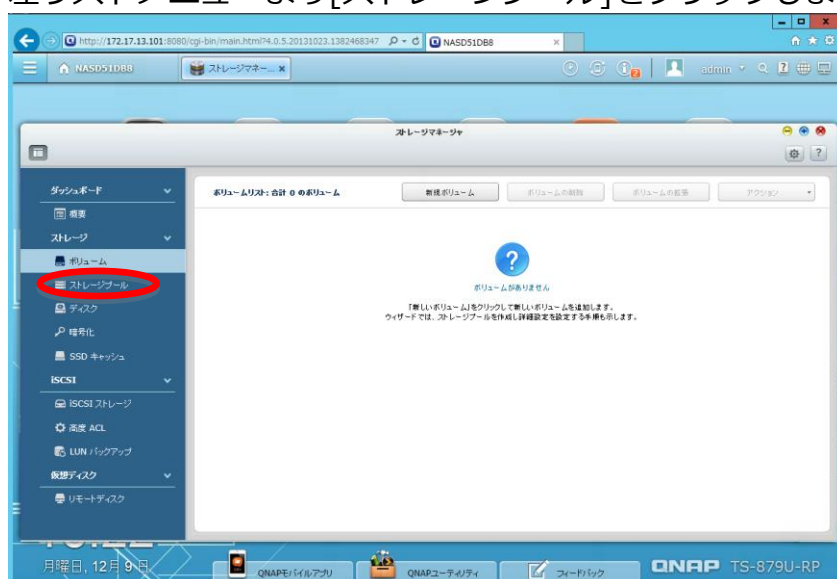
QNAP では先に複数のディスクをまとめた領域をストレージプールとして作成し、その後にボリュームや iSCSI ターゲットを作成していきます、今回は通常の RAID5 領域の作成方法を記述しますが、他に RAID6 構成やホットスペアディスクを用意して対障害性を高めた構成等も構築可能です。

※ストレージプールは機種により、使用できる機種/使用できない機種があります。

1. WebUI のアイコンよりストレージマネージャーを起動します。



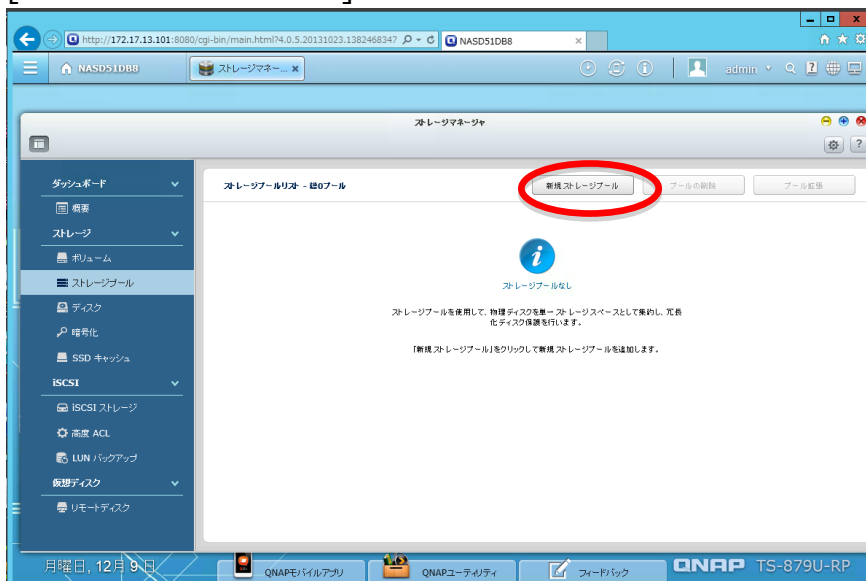
2. 左リストメニューより[ストレージプール]をクリックします。



3. ストレージプールのメニューへ移動します。



4. [新規ストレージプール]ボタンをクリックします。



5. ストレージプール作成ウィザードが起動します。
6. 「ハードドライブの選択」へ移動。



7. 使用するハードディスクドライブのチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。



8. RAID Type をドロップダウンリストより選択します。



9. 必要であれば、ホットスペアディスクをドロップダウンリストより選択します。

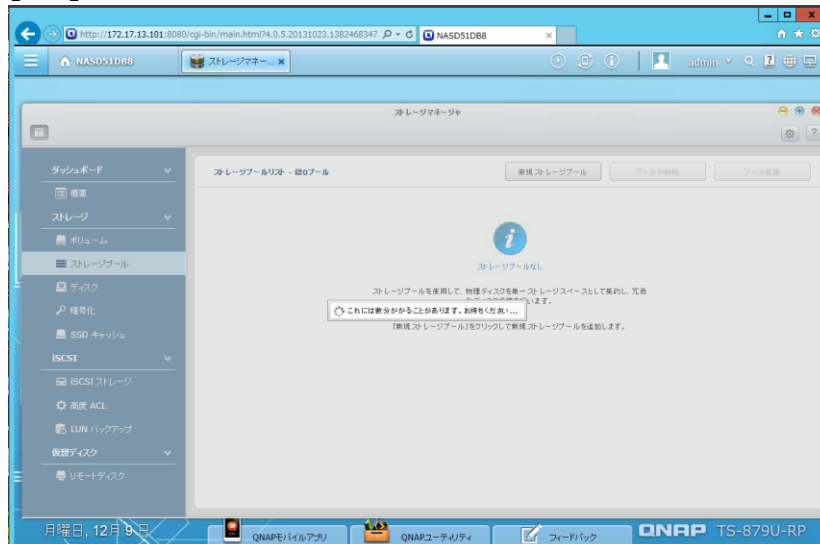
10. [作成]ボタンをクリックします。



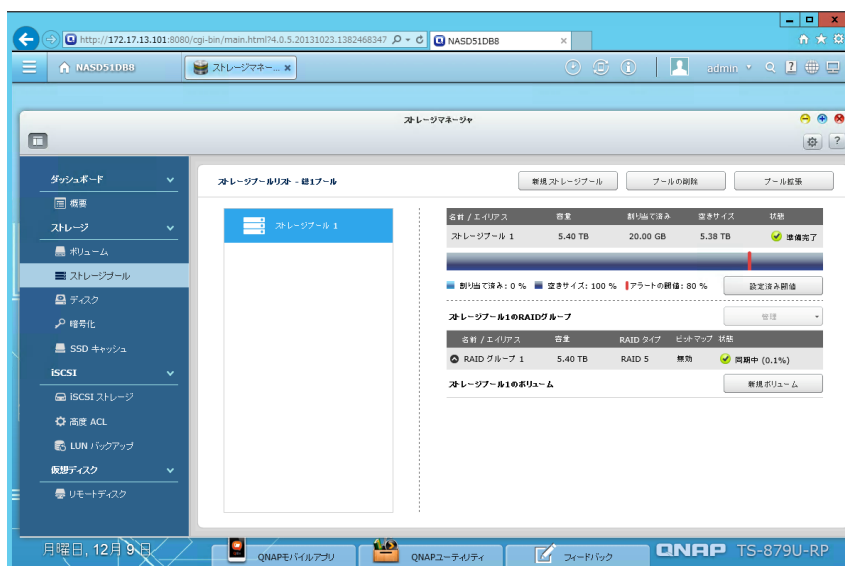
11. ポップアップで「選択したハードドライブのデータを全て消去します。続行しますか?」と確認するメッセージが表示されます。



12. [OK]をクリックすると、作成が開始されます。



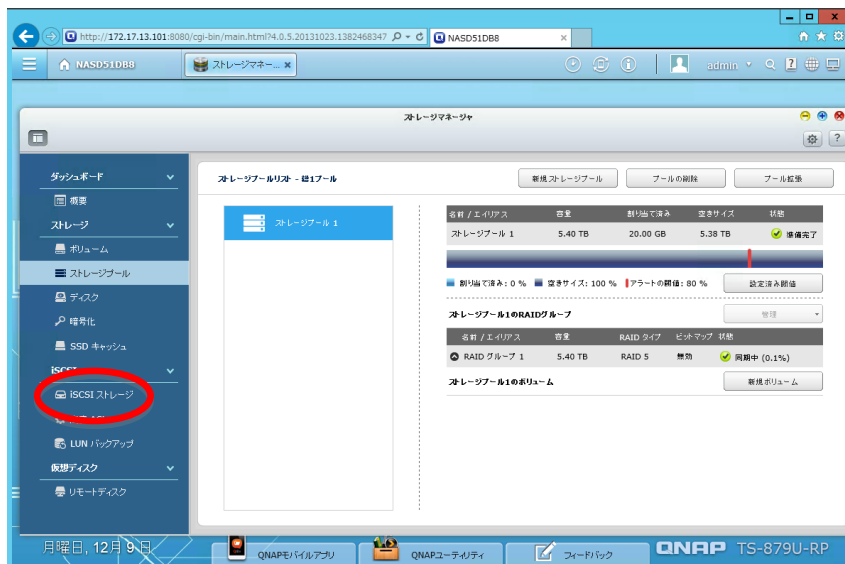
13. 作成終了後は、ストレージプールに iSCSI ターゲットやボリュームの作成が可能となります。



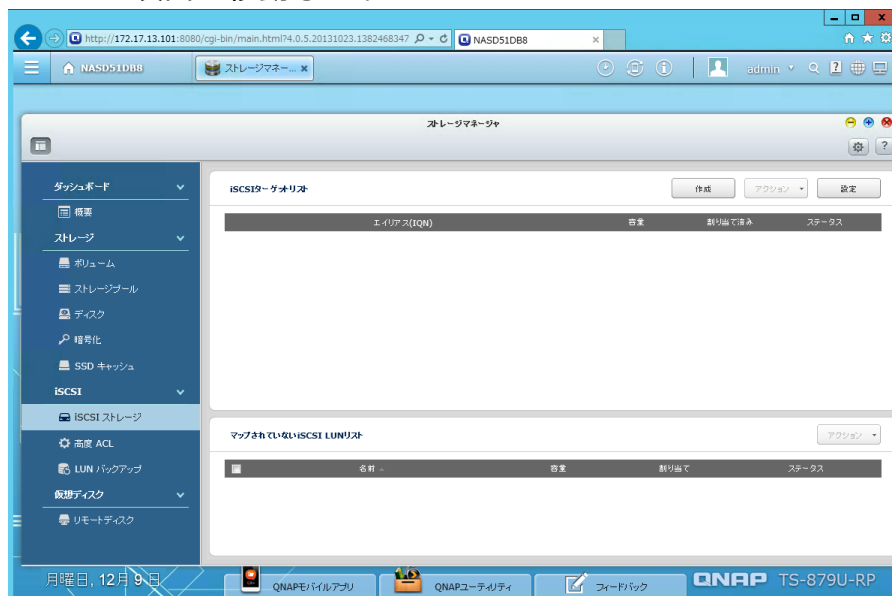


# iSCSI ターゲット作成

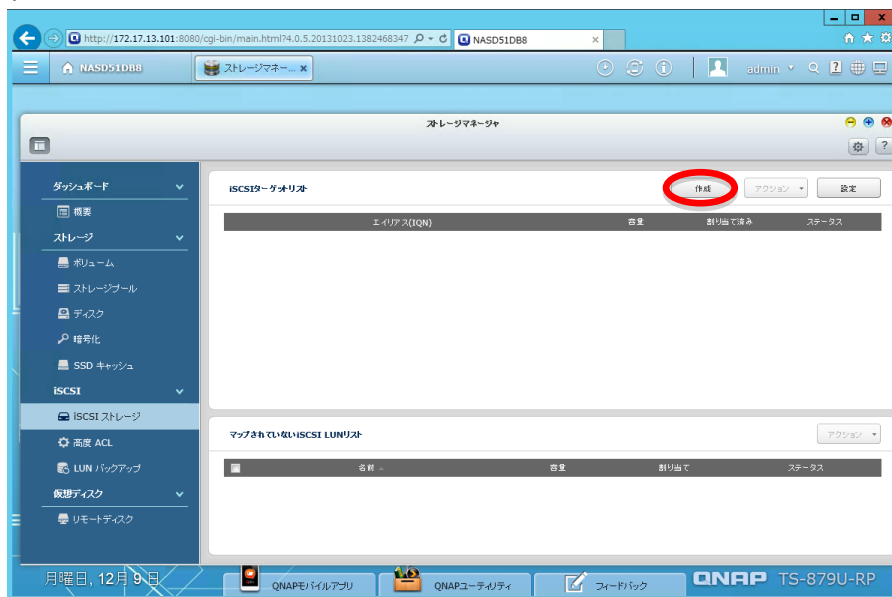
1. リストメニューの iSCSI ストレージをクリックします。



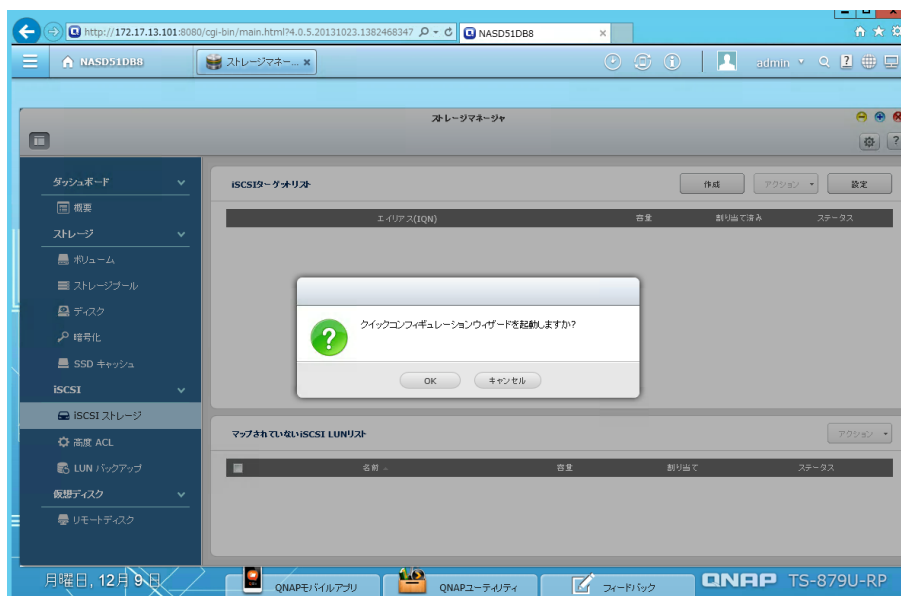
2. iSCSI の項目へ移動します。



3. 作成ボタンをクリックします。



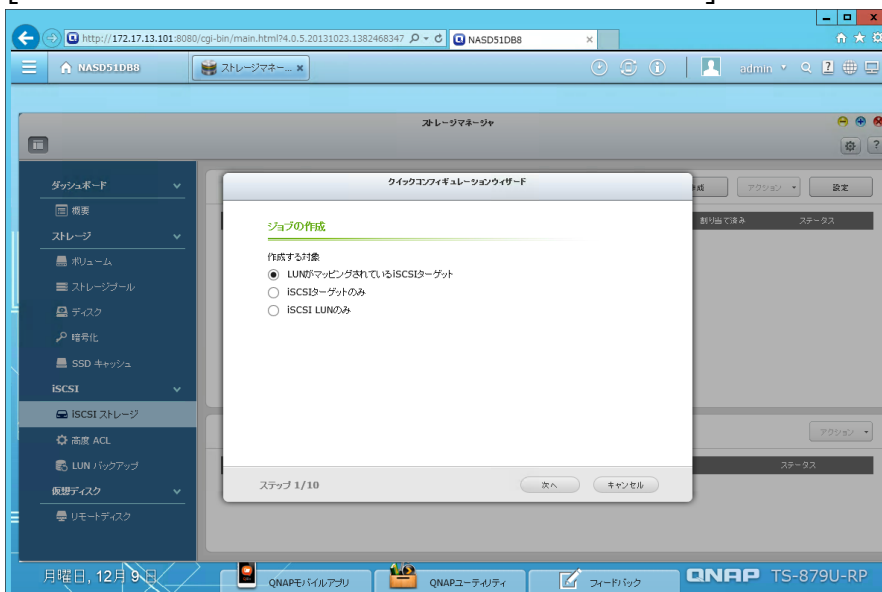
4. iSCSI ターゲット作成「クイックコンフィギュレーションウィザード」が起動します。



5. [OK]をクリックします。

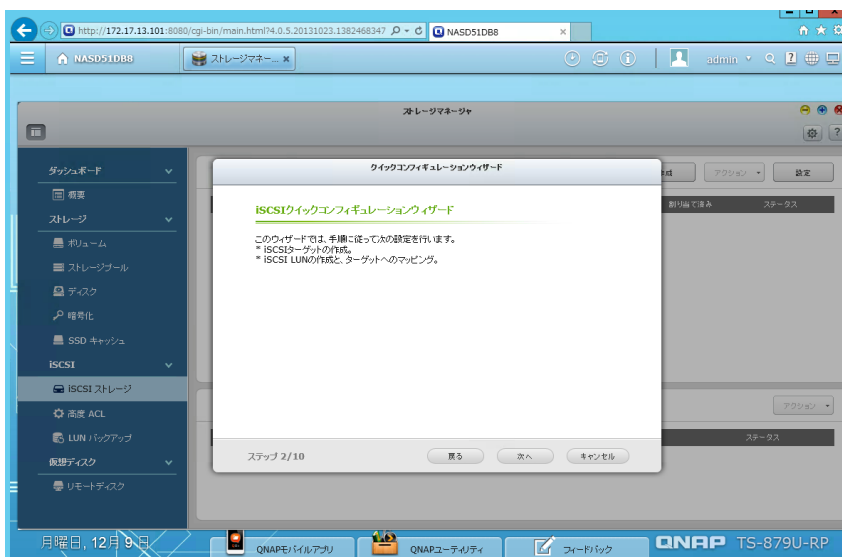
6. 作成する対象の選択へ移動します。

7. [LUNがマッピングされている iSCSI ターゲット]を選択します。



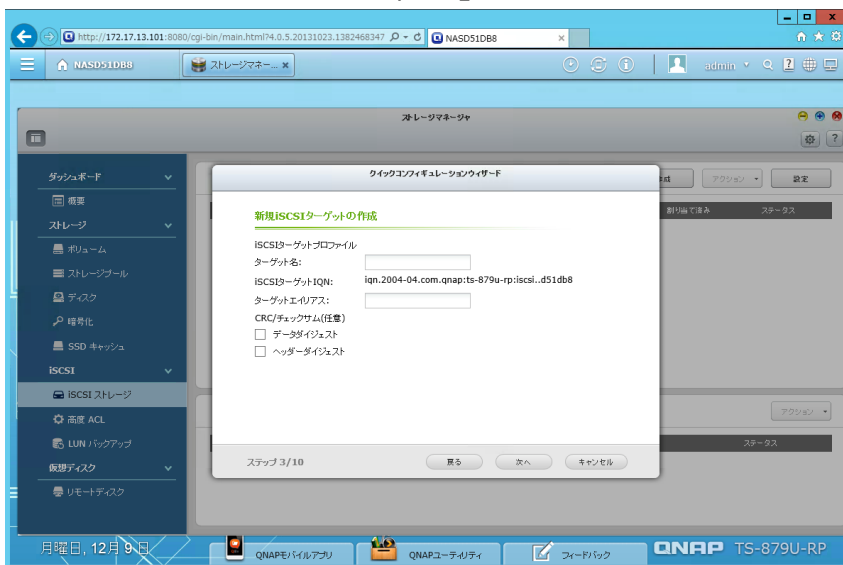
8. [次へ]をクリックします。

9. 「iSCSI クイックコンフィギュレーションウィザード」の説明が表示されます。

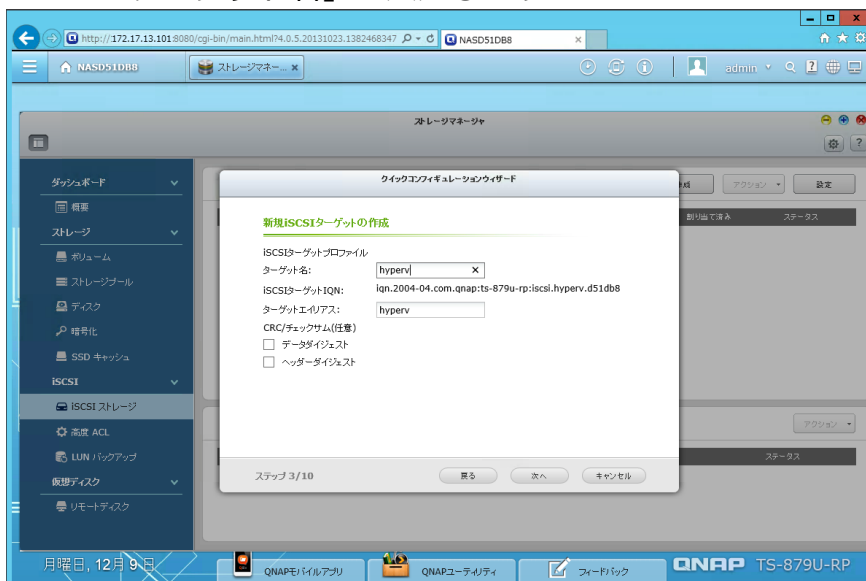


10. [次へ]をクリックします。

11. 「新規 iSCSI ターゲットの作成」が表示されます。

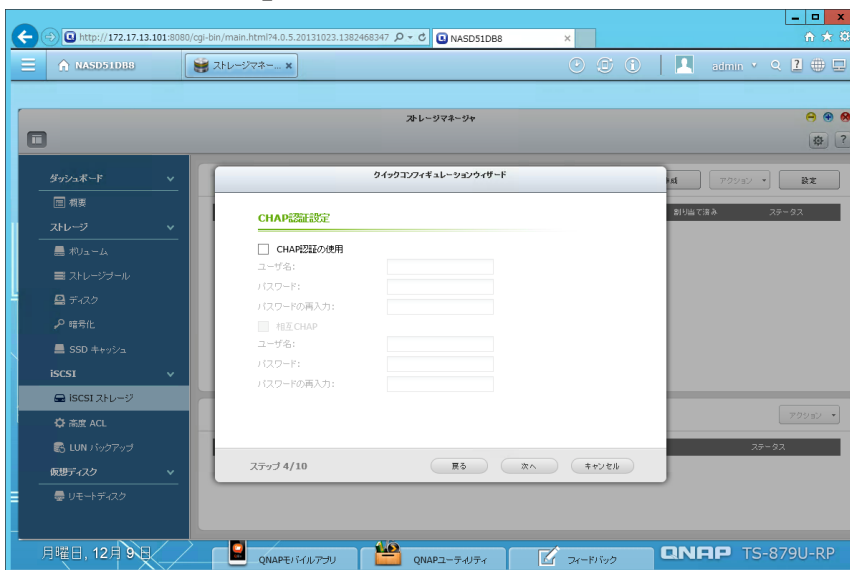


12. 「iSCSI ターゲット名」を入力します。



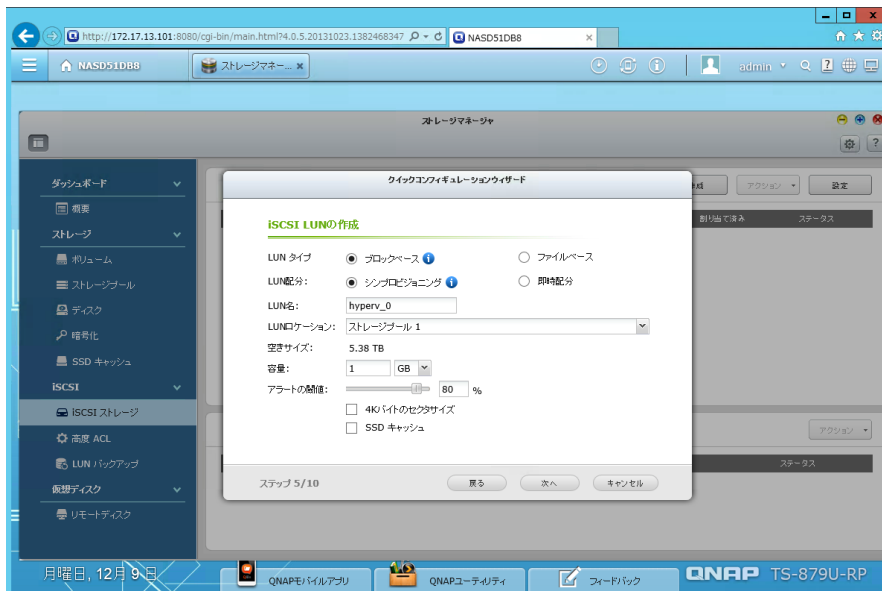
13. [次へ]をクリックします。

14. 「CHAP 認証設定」へ移ります。

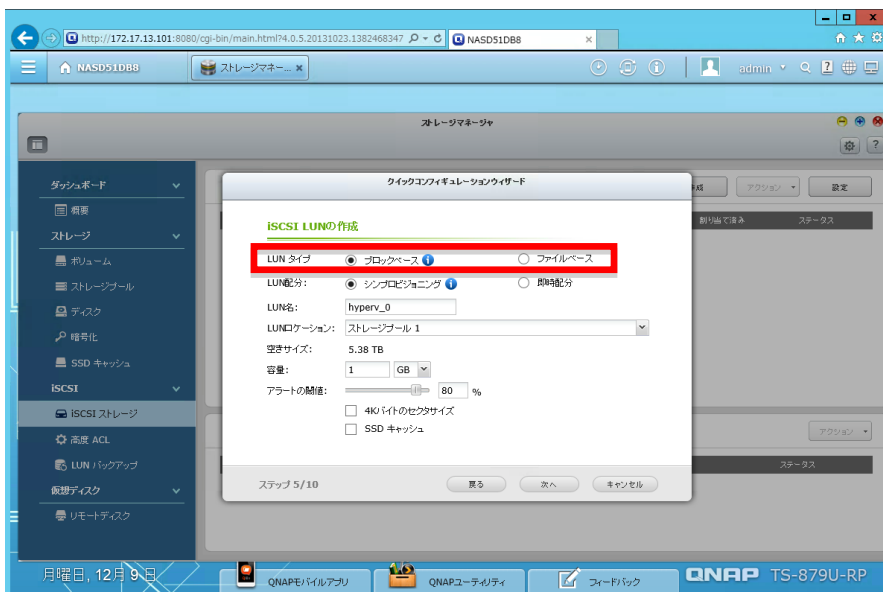


15. CHAP 認証を行わない場合、何もせず[次へ]をクリックします。

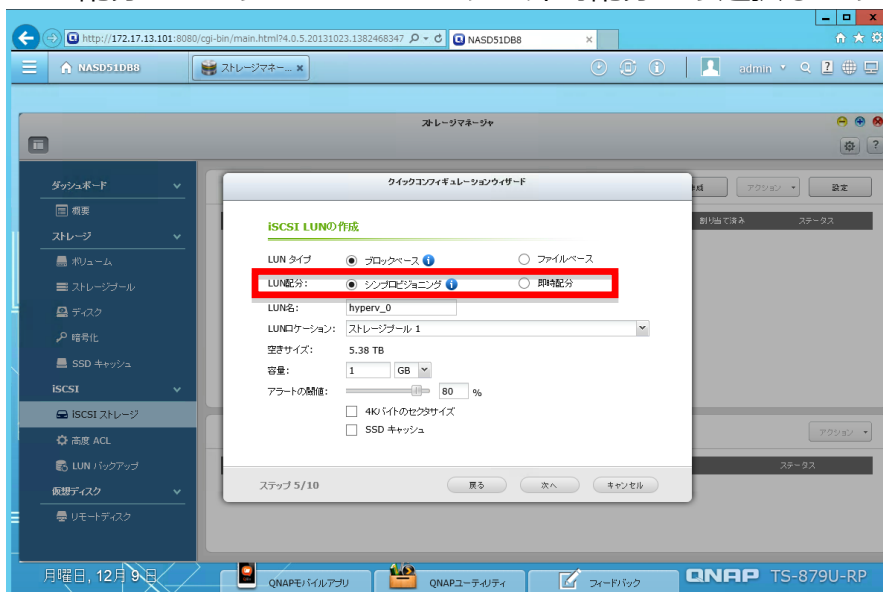
16. 「iSCSI LUN の作成」へ移ります。



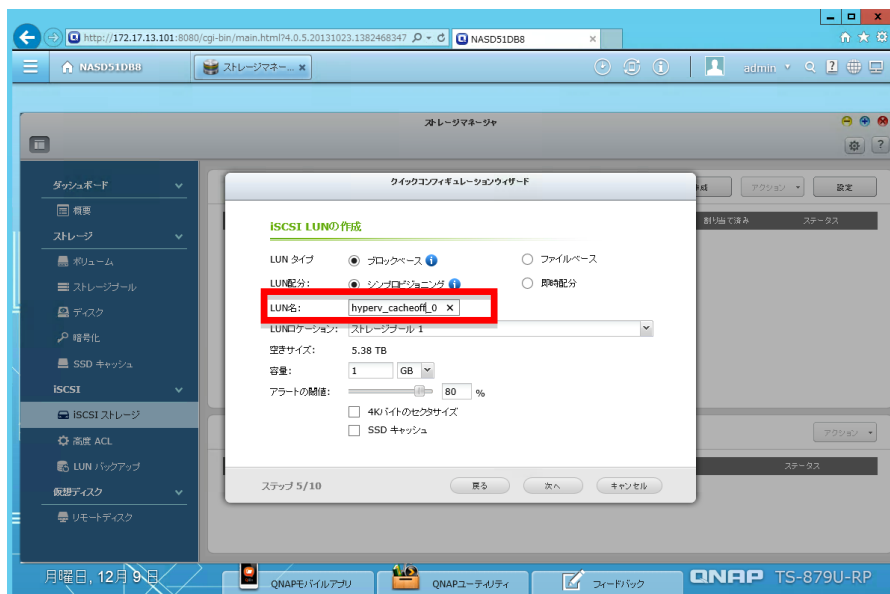
17. LUN タイプをブロックベース・ファイルベースより選択します。



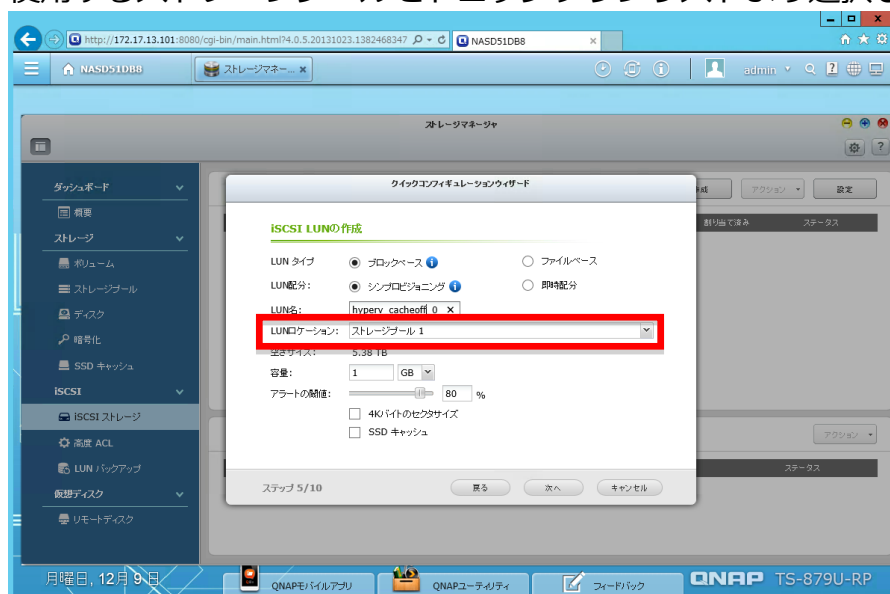
18. LUN 配分をシンプロビジョンング・即時配分より選択します。



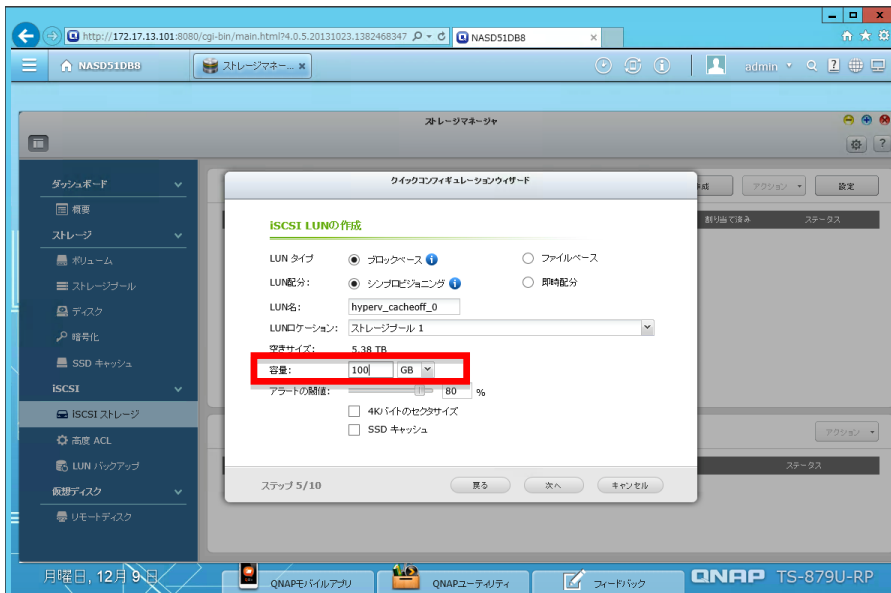
19. LUN 名を入力します。



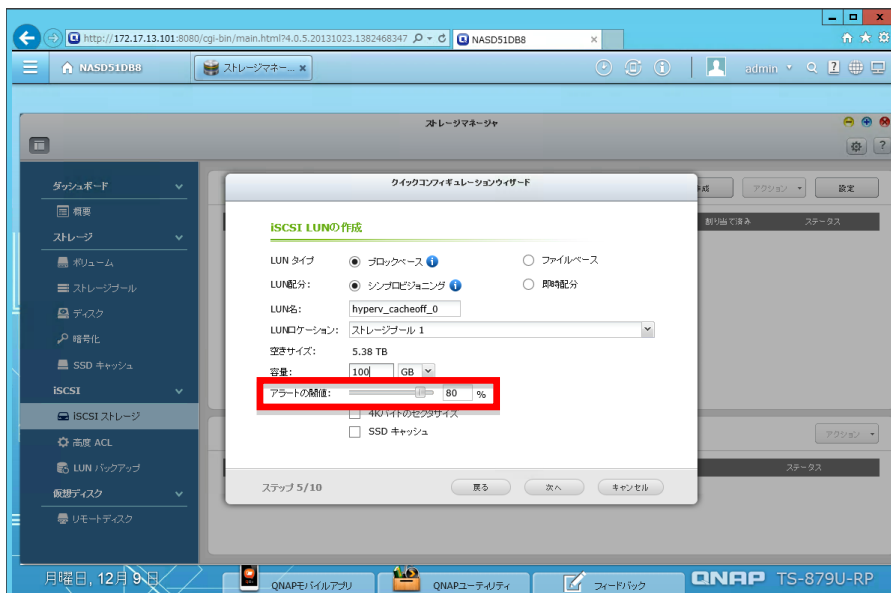
20. 使用するストレージプールをドロップダウンリストより選択します。



## 21. LUN の容量を入力します。

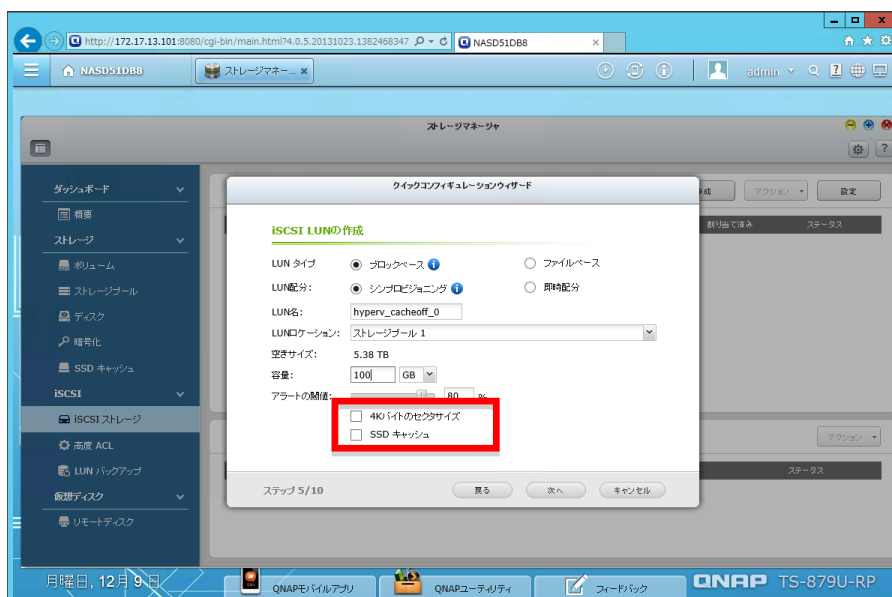


## 22. アラートの閾値をスライドにより設定します。





23. 4Kバイトのセクタサイズ、SSD キャッシュをチェックボックスで選択します。



24. [次へ]をクリックします。

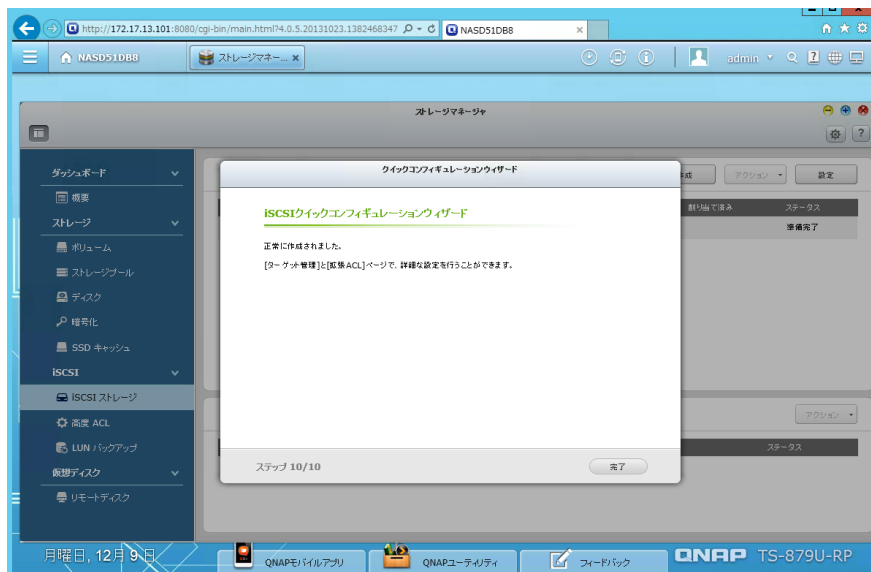
25. 設定の確認へ移ります。



26. [次へ]をクリックします。

27. 設定の反映が開始されます。

28. 反映完了後、[完了]をクリックすることで iSCSI ターゲットが作成されます。



※「SSD キャッシュアクセラレーション」について

QNAP で SSD キャッシュを使用する場合、SSD ディスクは決められたディスク スロット (SSD トレイ) に挿入 (インストール) されている場合にのみ検出されます。

[適用可能なモデル]	[ディスクスロット (SSD トレイ)]	[対応 SSD 数]
TS - x79U - SAS	全てのトレイ	2 つ以上
SS - x79U - SAS	全てのトレイ	2 つ以上
TS - ECx80U - RP	Disk 1,2,3,4	4 つまで*
TS - ECx80 Pro	Disk 5,6,7,8	4 つまで*
TS - x79U	Disk 3,4	2 つまで
TS - x79 Pro	Disk 7,8	2 つまで
TS - x70U	Disk 3,4	2 つまで
TS - x70 / TS - x70 Pro	最後の 2 つのトレイ	2 つまで
TS - x51	全てのトレイ	制限なし
TS - x53 Pro / SS -x53 Pro	全てのトレイ	制限なし

\*TS - ECx80 シリーズは、2 つの追加内部 mSATA キャッシュポートに対応しています。

[キャッシュ容量]	[RAM 必要量]
512GB	1GB 以上
1TB	4GB 以上
2TB	8GB 以上
4TB	16GB 以上